

令和元年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 総会

日 時：令和元年7月6日（土）16時～19時

場 所：ホテルマイステイズ宇都宮

1. 開会

2. 挨拶

- ・栃木県宮陵会 会 長 三 橋 英 之
- ・学校法人神奈川大学 人事部長 手 戸 俊 彰 様
- ・一般社団法人神奈川大学宮陵会 副 会 長 三 宮 政 俊 様

3. 御紹介

- ・第19回統一地方選挙当選者 栃木県議 山 形 修 治 氏
宇都宮市議 岡 本 源二郎 氏
- ・新規会員（6名）
代表者挨拶 宇都宮市教育長 小 堀 茂 雄 氏

4. 記念撮影

5. 議事

- (1) 平成30年度事業報告
 - ・事業実績報告
 - ・収支決算報告、監査報告
- (2) 令和元年度事業計画
 - ・事業計画（案）
 - ・収支予算（案）
- (3) その他
 - ・平成30～令和元年度役員
 - ・栃木県宮陵会会則

6. 閉会

《懇親会》

1. 挨拶、乾杯

- ・栃木県宮陵会 副 会 長 佐 藤 節 夫

2. 歓談

- ・サクソフォン四重奏（大 貫 茜 様）
- ・大抽選会（賞品提供：川中子 武保 様）
- ・自己紹介と近況報告

3. 中締め

- ・栃木県宮陵会 幹 事 高 橋 廣 宣

～ ～ ～ ～ ～ 来賓紹介 ～ ～ ～ ～ ～

手戸 俊彰（てど としあき）様

学校法人神奈川大学 人事部長

昭和63年 神奈川大学 法学部 法律学科卒

三宮 政俊（さんのみや まさとし）様

一般社団法人神奈川大学宮陵会 副会長

昭和51年 神奈川大学 法学部 法律学科卒

昭和53年 神奈川大学 大学院法学研究科

法律学専攻 修士課程卒

～ ～ ～ ～ ～ 演奏者紹介 ～ ～ ～ ～ ～

大貫 茜 様

平成17年 神奈川大学 法学部 法律学科卒

（学生時代は吹奏楽部に所属）

作新学院高等学校 吹奏楽部コーチ

作新学院大学 吹奏楽部音楽監督

三宅 祐人 様

川俣 京也 様

坂本 菜奈 様

出席者名簿

	卒業		氏名	住所	備考
	年	学部			
1	1963	機械工学科	村上 尚司	栃木市	
2	1964	経済学科	柴田 勇一	宇都宮市	
3	1967	貿易学科	高田 政直	宇都宮市	
4	1968	経済学科	佐藤 節夫	宇都宮市	
5	1968	機械工学科	藤戸 時一	宇都宮市	
6	1969	機械工学科	瀬在 宏	宇都宮市	
7	1970	法律学科	木村 朋之	宇都宮市	
8	1972	法律学科	亀井 光夫	宇都宮市	
9	1974	貿易学科	本澤 卓	那須郡那須町	欠席
10	1975	経済学科	柴田 道夫	宇都宮市	神原氏勧誘
11	1979	貿易学科	阿久津 正幸	日光市	
12	1980	経済学科	高橋 廣宣	宇都宮市	
13	1980	法律学科	川中子 武保	宇都宮市	
14	1982	法律学科	小堀 茂雄	宇都宮市	川中子氏勧誘
15	1984	法律学科	山口 哲昭	宇都宮市	
16	1985	工業経営学科	後藤 正明	小山市	
17	1985	法律学科	三橋 英之	宇都宮市	
18	1986	法律学科	橋本 文明	下野市	
19	1987	法律学科	山形 修治	芳賀郡茂木町	
20	1987	英語英文学科	松島 貴子	宇都宮市	
21	1988	応用化学科	松島 章	宇都宮市	
22	1989	貿易学科(2部)	和賀井 聡	宇都宮市	
23	1992	短大商学科	長野 剛	小山市	
24	1993	英語英文学科	篠原 理恵	宇都宮市	
25	1994	建築学科	神原 敦子	宇都宮市	
26	1996	経済学科	須田 正彦	真岡市	
27	1998	経営工学科	高橋 洋行	下野市	
28	1999	経済学科	福地 泰芳	佐野市	高橋氏勧誘
29	2000	電気工学科	三橋 一成	真岡市	
30	2003	スペイン語学科	大貫 有紀枝	宇都宮市	
31	2006	電気電子情報工学科	鈴木 綾	宇都宮市	欠席
32	2017	自治行政学科	岡本 源二郎	宇都宮市	HP申込み

は、初参加者。

平成30年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 事業実績報告

年 月 日	行 事	内 容	備 考
平成30年 7月 7日	父母懇談会(就職活動説明会)への出席	「宇都宮東武ホテルグランデ」三橋会長・松島事務局長が出席	実施
11日	栃木県宮陵会設立53周年記念日		—
14日	総会	「ホテルマイステイズ宇都宮」31名	実施
7~9月	運動部等の栃木合宿を応援	運動部等の合宿無し	—
8月	新卒者の県内就職情報収集→入会勧誘	大学事務局からリスト入手	実施
10月 7日	神奈川大学ホームカミングデー(バスツアー)	大学(式典・懇親会・校内散策)→六角橋商店街で二次会 10名	実施
12月 15日	第1回役員会 (忘年会)	「GIOVANNI(ジョヴァンニ)」22名	実施
平成31年 3月 15日	第5回ゴルフコンペ	「宇都宮カントリークラブ」6名	実施
3月 31日	第2回役員会 (決算)		実施

平成30年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 収支決算報告書

1 収入の部 (円)

費目	内訳	予算	決算	増減	備考
会費	支部会員より	70,000	62,000	-8,000	@2,000 × 31人
交付金	宮陵会	44,800	78,800	34,000	@2,000 × 7人(女性会員) @124 × 200人(通信費) 40,000円(寸志)
繰越金	前年度残金	149,388	149,388	0	
雑収入	銀行利息	12	0	-12	
合計		264,200	290,188	25,988	

2 支出の部 (円)

費目	内訳	予算	決算	増減	備考
運営費	親睦事業	140,000	103,500	-36,500	懇親会差額負担(@1,000円) 来賓等飲食代(16,500円) ホームカミングデー(30,000円) ゴルフコンペ賞品(10,000円)
	ボランティア活動	30,000	0	-30,000	
	応援費	30,000	0	-30,000	
	交通費	10,000	0	-10,000	
事務費	通信費	30,000	24,800	-5,200	往復はがき(@124円 × 200枚)
	印刷費	5,000	0	-5,000	
	事務用品費	5,000	0	-5,000	
予備費		14,200	0	-14,200	
合計		264,200	128,300	-135,900	


3 差引額

$$290,188 - 128,300 = \underline{161,888} \quad (\text{円})$$

上記のとおり、決算報告いたします。

平成31年3月31日

会計

上野 

通帳、領収書等を監査した結果、適正であることを確認いたしましたので報告いたします。

平成31年3月31日

会計監事

和賀井 聡 

令和元年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 事業計画(案)

年 月 日	行 事	備 考
令和元年 7月 6日	総会 (ホテルマイステイズ宇都宮)	
11日	栃木県宮陵会設立54周年記念日	
4~9月	新卒者の県内就職情報収集	
7~9月	運動部等の栃木合宿を応援	
9月 14日	父母懇談会で講話 (宇都宮グランドホテル)	
10月 13日	第25回ホームカミングデー (横浜キャンパス)	案内のみ
11月	第6回ゴルフコンペ	
12月	第1回役員会・忘年会	
令和2年 3月	第2回役員会 (決算)	
7月 上旬	総会	第1~2土曜日

令和元年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 収支予算書(案)

1、収入の部

(円)

費目	内訳	平成30年度 予算	令和元年度 予算	増減	備考
会費	支部会員より	70,000	70,000	0	@2,000円×35人
交付金	宮陵会より	44,800	44,800	0	@2,000円×10人(女性会員) @124円×200人(通信費)
繰越金	前年度残金	149,388	161,888	12,500	
雑収入	銀行利息、他	12	12	0	
合計		264,200	276,700	12,500	

2、支出の部

(円)

費目	内訳	平成30年度 予算	令和元年度 予算	増減	備考
運営費	親睦事業	140,000	100,000	-40,000	懇親会の差額負担(60,000) ゴルフコンペ賞品(10,000) 他
	ボランティア活動	30,000	30,000	0	
	応援費	30,000	30,000	0	部活動の栃木合宿差入れ 等
	交通費	10,000	10,000	0	
事務費	通信費	30,000	30,000	0	往復はがき
	印刷費	5,000	5,000	0	
	事務用品費	5,000	5,000	0	コピー用紙 等
予備費		14,200	66,700	52,500	バスツアー積立金(扱い)
合計		264,200	276,700	12,500	

平成30年度～令和元年度 神奈川大学 栃木県宮陵会 役員

役員名	氏名	卒業年度	卒業学部
会長	三橋 英之	1985年	法学部法律学科
副会長	池 勝好	1966年	経済学部経済学科
〃	小沼 一正	1968年	経済学部貿易学科
〃	佐藤 節夫	1968年	経済学部経済学科
〃	大森 敏秋	1974年	経済学部経済学科
幹事	渡辺 清光	1977年	経済学部経済学科
〃	高橋 廣宣	1980年	経済学部経済学科
〃	伊藤 秀明	1982年	経済学部経済学科
〃	三橋 一成	2000年	工学部電気工学科
事務局長	松島 章	1988年	工学部応用化学科
会計	上野 元	2011年	法学部法律学科
会計監事	和賀井 聡	1989年	経済学部貿易学科(2部)
相談役	村上 尚司	1963年	工学部機械工学科
〃	柴田 勇一	1964年	法経学部経済学科

神奈川大学 栃木県宮陵会 会則

(名称)

第1条 本会は、神奈川大学 栃木県宮陵会と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会は、事務所を事務局長（松島章）自宅の栃木県宇都宮市駒生町1358-6に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦をはかるとともに、神奈川大学及び宮陵会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、次の事業を行う。

- (1) 総会・役員会の開催
- (2) 会員相互の親睦をはかる事業
- (3) 母校の課外活動応援
- (4) 会員名簿の整備
- (5) 各種ボランティア活動への協力
- (6) その他目的に関する必要な事業

(会員)

第5条 本会は、横浜専門学校、神奈川大学、同大学院及び神奈川大学短期大学部を卒業した者で、栃木県に在住及び勤務するもの、並びにこれに準ずる者をもって組織する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 会 計 1名
- (5) 幹 事 若干名
- (6) 会計監事 1名
- (7) 相談役 若干名

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において選任する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(役員職務)

第9条 会長は、本会の業務を総括し、本会を代表する。

第10条 副会長は、会長を補佐し、会長に支障が生じたときはその職務を代行する。

(役員会)

第11条 役員会は、必要に応じて随時開催する。

2 役員会は、会長が招集する。

(総会)

第12条 総会は、原則として年1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

(資金)

第13条 本会の運営資金は、会費及び寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(会費)

第14条 本会の会費は、年額2,000円とする。ただし、必要に応じ臨時に会費を徴収することがある。

2 会費の改訂は、総会において行う。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

(会則の変更)

第16条 本会則の改正は、総会において行う。

付則

この会則は、平成24年7月14日から施行する。



本日の大抽選会の賞品に関する御案内

「しもつけの心」 第50号(平成30年7月28日発行)より

ふれあい広場



毎年正月、宇都宮市指定有形文化財の「旧篠原家住宅」で個展を開いている川中子武保さん



招き猫



福だるま

「あ〜めでたい、めでたいな」、恵比寿・大黒七福神、一ふじ二たか三なすび。縁起ものの福だるま。招福開運招き猫。思わずふっと笑いが浮かぶ面白く楽しい「ひらがな筆絵」の世界。この絵を制作したのは宇都宮市在住の川中子武保さんだ。

世間では芸術的な書が尊ばれる一方で、筆を手にする人がめっきり減った。そこで川中子さんは考

えた。筆を持つてもらおう機会を作りたいという思案し、幼少の頃から習ってきた書の腕を生かして書きやすく分かりやすい「ひらがな」を活用して筆絵を描こうと心に決めた。どうせなら誰もが嬉しく楽しい気持ちになるような作品が良いだろうと「恵比寿・大黒」から始まり、「七福神」に発展。次に天狗や福だるま、招き猫を制作、宇都宮の郷土玩具「黄ぶ

な」にも挑戦した。めでたさを追い求めて、ついに「めでたい」が目出鯛」を描いては職場の同僚の結婚や新築祝いなど機会あるごとに作品をプレゼントトするようになった。

催。今では毎年正月に宇都宮市を代表する旧家の一つ「旧篠原家住



あ〜めでたい、恵比寿・大黒七福神 福だるまに招福開運招き猫

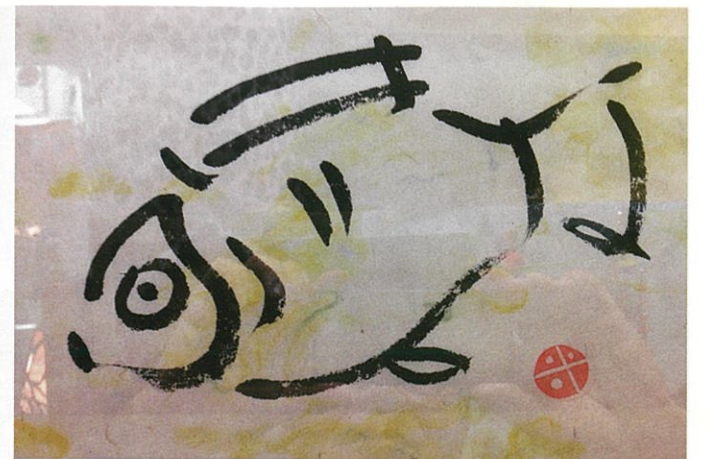


川中子 武保さんが制作 (宇都宮市)



楽しい

「ひらがな筆絵」



宅(国指定重要文化財、宇都宮市指定有形文化財)で目出たい作品展を開くまでになった。
家族連れも訪れたが、白い紙に墨字の筆絵は子供には分かりずらいらしく首をかしげて見ていた。そこで川中子さんは子供目線に合わせて余白部分を切り取り色和紙を貼る手法に転換して、分かりやすく描き、今では小学生も笑顔で楽しみ、リピーターも増えた。
川中子さんの活動範囲は

広い。行きつけの居酒屋や割烹に展示、ポストカードを作って知人や同僚にプレゼントしている。また、宇都宮市内の全私立保育園に園名を入れた招き猫をプレゼントしたところ園児らが面白がって大喜び。さらに宇都宮大学・まなびの森保育園にも招き猫を贈った。ここでも「かわいい」と大人気だったという。

「ひらがな筆絵」を入口に

川中子さんは「ひらがな筆絵」への想いを次のように話している。

毎年正月に「ひらがな筆絵」作品展を開いていますが、何とんでも嬉しいのは小さなリピーターが年々増えていることです。
「この魚の絵には何というひらがなが書かれているか分かるかな?」と質問すると、首をかしげながら「うーん、め:



で・・・た・・・いかなあ」と可愛らしい答えが返ってくるとうれしくなっています。

展示した作品の一部は今も市内の小学校の廊下に飾られ、作品を通して「ひらがな教育」として役立たせていただいています。
私は「ひらがな筆絵」を通して筆の文化、書の文化に親しんでほしいと願っています。最初は市販の筆ペンでいいんです。慣れてきたら半紙に絵を描いてみましょう。身近に「白と黒の世界」を感じられると思います。きっと「ひらがな筆絵」はその入口になるはずです。

神奈川県立神奈川大学校歌

作詞 神保光太郎
作曲 高田 三郎

はつらつと ♩ = 88

い わ を っ ち と ど ろ に か え す ま し ろ な る な み の ゆ く え よ あ け そ め し に

ほ ん の み ら い わ き お こ る あ か つ き の う た せ か い は よ ぶ せ

か い は よ ぶ ひ か り は こ こ に わ れ ら か な が わ だ い が く

一 岩をうち とどろに返す
真白なる 波のゆくえよ
あけそめし 日本の未来
湧きおこる あかつきの歌
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

二 空をあく 涯てなくあをく
船は航く 遠きわたつみ
ひとすぢの 真理の潮路
相寄りて 今日も究めん
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

三 丘に立ち 祖国を想ふ
混沌の 雲のゆきかい
日に烈し ほのほの決意
あたらしき 歴史の朝よ
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学